

令和7年度第10回常滑市教育委員会定例会

令和8年1月21日(水)

午後1時30分

市役所1階会議室F

1 開会 午後1時30分

2 前回定例会会議録の承認  
承認

3 会議録署名者の指名  
藤田幸恵委員

4 出席委員  
梶田幸司委員、藤田幸恵委員、間野恵委員、土方宗広教育長

5 欠席委員  
安井由希子委員

6 教育長の報告事項

それでは、教育長の報告事項につきまして、12月22日の定例会以降の教育委員会の動きの主なものをご報告いたします。

まず、12月20日から28日まで、マレーシア派遣団として小学5年生6名と引率者3名が常滑市を訪問し、ホストファミリーをはじめとした様々な人たちとの交流会や文化交流、小中学校ショートステイ、施設や工場見学などを行いました。私は、教育部長、学校教育課長、指導主事とともに、27日のフェアウェルパーティーに参加させていただき、楽しいひと時を過ごしました。

新年が明け、1月5日は知教協幹事会に、8日には安井委員と知教協に出席しました。来年度の事業計画案、歳入歳出予算案などが審議され、承認されました。

11日は、二十歳のつどいをフライトオブドリームで開催しました。会場まで下りてくる保護者の姿も多く見られました。参加人数等、詳細は生涯学習スポーツ課から後ほど説明があると思います。

14日は愛知県都市教育長協議会の役員会、総会、研修会、講演会等を行いました。常滑市教委が事務局ということで担当職員には無理なお願いばかりをしましたが、無事に終了いたしました。心から感謝しております。私も2年間の会長職を今年度末に退任できます。大変ほっとしております。

16日は、図書館基本構想策定委員会に委員として出席しました。まだまだ委員会の検討は続きますが、今後の本市の財政状況と今後新図書館にどれだけの予算を捻出できるのかがキーポイントだと思います。

17日には、第1回西浦南小学校のあり方検討委員会を開催しました。午前10時から2時間、これまでの経過やアンケートの結果を確認したのち、各委員の皆様から現段階の感想や意見を伺いました。今後は年度をまたいで検討を続けていき、委員会と

して結論を見出していきたいと思えます。

19日は、子どもたちの健やかな成長を願う懇談会に県都市教育長会の代表として出席しました。テーマは不登校児童生徒への支援ということでした。私からは、居場所づくり、学習支援、相談支援、見守り支援の4つの柱の重要性と将来へ向けて抱えている不安や悩みを払しょくすることの重要性をお話しさせていただきました。

報告は以上でございます。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 7 議題 付議事件

議案第1号 令和7年度常滑市教育委員会表彰の候補者について

学校教育課長：資料に基づき説明

教育長：何かご質問ございませんか。

梶田委員：記念品は何ですか。

学校教育課長：個人は1,000円の図書カード、団体は3,000円のクオカードを予定しています。団体については、全員で使うには使いづらいため、小分けにしたいと考えています。

梶田委員：去年も団体のクオカード3,000円というのは使いづらいという意見が出ましたが、今年も方向性は変わらずということですか。

学校教育課長：去年と同様に実施する予定です。来年度については、賞品を出すことがよいのかということを含めて検討します。

教育長：他に質問はございませんか。

委員全員：ありません。

教育長：お認めいただけますでしょうか。

委員全員：異議なし。

「可決」

議案第2号 学校給食費の改定について

給食センター所長：資料に基づき説明

教育長：何かご質問ございませんか。

梶田委員：給食費の改定により、食材の質やデザート回数を物価高騰の前の基準で提供できるという説明でしたが、食材の質とはどのようなことをいうのでしょうか。

給食センター所長：例えば、豚肉ばかりではなく牛肉を使えたり、コロケの大きさを小さくせずにすんだりするとかです。

藤田委員：今は20円を公費負担していますが、改定後は公費負担がなくなるのでしょうか。

給食センター所長：小学校については、330円のうち、305円はいわゆる給食無償化による国からの支援、25円は重点支援交付金の活用を検討しているところです。中学校については、値上がりする50円に重点支援交付金の活用を検討しているところです。

間野委員：子どもたちは給食を楽しみにしています。また、給食で栄養をとっている子もいます。給食費が安いことに越したことはないですが、大

半の親は給食を重要だと思っています。感謝もしています。

給食センター所長：ありがとうございます。

藤田委員：残菜はどのようでしょうか。

給食センター所長：学校によって異なります。必要な食数、必要な量を提供するようにしています。

梶田委員：なぜ余ったのかという調査は行っていますか。

給食センター所長：2か月に1度、献立委員会を開催し、残菜のデータを見ながら意見交換を行い、次の献立につなげています。

教育長：他に質問はございませんか。

委員全員：ありません。

教育長：お認めいただけますでしょうか。

委員全員：異議なし。

「可決」

報告第1号 令和7年度文化の日記念「文化振興事業」の結果について

生涯学習スポーツ課長：資料に基づき説明

教育長：何かご質問ございませんか。

梶田委員：文化振興事業の場合、入場料を徴収してもよかったですか。

生涯学習スポーツ課長：営利目的でなければ徴収しても構いません。

教育長：他にご質問ございませんか。

委員全員：ありません。

「承認」

## 8 その他（諸報告について）

- ・ 行事連絡（1～3月）

学校教育課長が資料に基づき説明

- ・ 二十歳のつどいについて

生涯学習スポーツ課長が説明（資料なし）

## 9 閉会 午後2時30分